



堀 田 茂 兎

戦後の急速な幼児教育への関心から母親達の幼稚園教育の必要性を理解する事も急速に進歩して正しい認識のもとに入園を希望してくる者も非常に多くなりました。

二三年前頃に「就学前一年」はと押寄せて来ました。御承知の通り幼稚園の少ない本県では幼稚園への狭き門が名物の一つになって居りました。「一組でも多く」との声に答えて従来の二年保育を中止にしても考えましたがこのように考慮をしてもなお且つ多数の子供が残される事や父兄の要望や経営側の意見等に従いやはり従前通り

二年保育と一年保育とを置きました。

当時は一年保育の希望者が多く二年保育児は父親の転任等で補欠を入れてゆけばどうやら希望者の全部を年長組になる迄には入れる事が出来たのに反し一年保育児は「来年は学校だ」というので「てんやわんや」の騒ぎでした。従つて二十五名、三十名の組織はゆるさなくなりましてとうとう現在の四十名と五十名になってしまいました。各組に教諭一名に保母有資格者の助手一名をおいております。この大勢になった子供達を適当な環境のもとによりよく育ててゆく事や若い先生方をどのように導いてゆくか経営側とどのように接したらよいかを勉強するのに時間が足りませんでした。

段々慣れてきた頃にはあちらこちらに新設されて緩和して参りました。現在十三園となって居りますが幼児数の減少しました事は本県とて同じ状態で御座いますが園数の少ない関係上それぞれ支障なく経営して居ります。

現在私の園の母親達は一年では物足りない二年間出したいという希望が多いようです。「就学前一年の教育」と盛に言われたり書かれたりした当時とすっかり逆の状態になって居ります。身体の發育上からも規

則正しい生活に一年でも早く入る方がいいと言つて上の子供達は一年保育だったが次の子供からは二年保育をと後々のお子さんにはみんな二年保育になさるお母さんが多くなって来ました。参観日を重ねたりいろいろの行事に参加しているうちにハッキリと多面的にその差が認められて来たようです。大体において二年保育児の母親達は非常に熱心です。必ずしも熱心がいい時ばかりありませんが、一年保育児の母親達には割合のんびりしている人が多くて「まあ学校前だから一年位は出しておいた方がいいだろう」と考えたり又経済的に二年間は無理だからという人も居ります。

二年間同じ園で暮す関係上四歳児の取扱いを充分考慮して居ります。単に年令が低いからの意味ならばかりでなく二年間も此の園にいる子供達のために今年味ったあらゆる過程の楽しさは又来年も飽きる事なく新鮮な楽しさとして生活がのびてゆかれるようにと配慮された保育計画を必要とするからです。受持ちは現在は年長組になると変える事にして居ります。この事についても種々問題のある事と思ひますし、見方考え方の相異もあるかと思ひますが、子供の内に持っているもの育っている物がやはり先生によって見出されたり或は先生によ

って見のがしていたりする子もあるので変えた方がいいと言える点もあるようです。一年保育児は五歳ともなれば始めてとは言うものの、大勢の中から選ばれて来ただけに四歳児とはちがって持ち易い組でしょう。私も或年受持ってみましたが年少組をもらい受けるのとちがってくせのないスムーズに自分の物になり切るころよき。すべてがうまく展開されてゆくよさが忘れられません。この事からも受持ちの変更或は教育技術の問題が考えられると思います。一年保育児も二年保育児も同時に入学しますし同じ幼稚園から入学する場合親としても教師としても又受取る学校としてもあまり差のない事が望ましいでしょうが早や生れの子供とおそ生れの子供の場合に差があるようにやはり一年間の幼稚園生活と二年間の幼稚園生活とは私達で動かすことの出来ない差が出来ます。其処にこそ幼稚園教育の成果が認められるところで当然の事であろうと思います。勿論個人差のある事も当然です。

私は総ての過程において年少組の計画に注意します。来年の事が新鮮なものとして受入れられてゆくようにそして現在の事も楽しい適切な物であるようにと留意して居ります。

一つの園において起る事柄——
鳩がひなをかえした事。あひるが卵を産むようになったこと。鶏が卵を産んだ事。兎が犬にかまれて死んだ事。花壇の花の事。いろいろの行事等々狭い園内での環境をどのように扱ってゆくかの計画に心をつかってもらうように年少組の受持ちの方に話します。

いろいろの事が来年度に於て一年保育児と調和のとれるように考えて延び過ぎていたり行き過ぎていたりしないか片寄っていないかを考えて幅のある保育をしてゆくように導きます。小学校の先生がよく幼稚園から上る子供の悪例を言われるのと同じような事が園内で起らないように注意して居ります。その点一年保育児は何もかも新しい事ばかりで心配ありませんが安定感を得てお友達と仲よく通園出来るようにという大役があるわけです。この大役を四歳児の時にすっきり解消して我が家になり切っている二年保育児と比較すればやはり今一息という感じを残して出てゆくのが一年保育児の姿でしょう。中には一年保育児とは思われないような生長を見せたり二年保育児だのと思われるのも見受けられる事はこの園でも同じで御座いましょう。

入学前には大体大差なく生長して各地区

別の一日入学も終り希望に胸をふくらませて居りますがそと一組一組を覗いてみますと先づ二年保育児の場合にはもう随分お友達同志の話や話し合いが上手に出来るようになっていきます。お弁当の時仲間入りをしてみますのに田舎へ行った事について、昨日遊んだ事について或は食後外に出てからの遊びの相談や約束等が楽しく出来ていきますし時々私にも話しかけて仲間に入れてくれたり相談役にされたり時々は静かに流れているレコード音楽を妨げる事もあります。が実に各グループ毎に楽しそうです。一年保育児の場合はあちらこちらに話している場は見受けられてやはり楽しそうに食事をして居りますがグループ的な動きが全体として見られません。話しかけてやれば次々と話に乗っては来ますが全体的に静かだと言えます。然し三学期も終る頃ともなれば部分的には非常に活潑に話し合いが出るようになります。郵便局、電話局、消防署、

其の他の見学の時も見た物感じた事分らない事柄等に対して、直ぐ言語に表現する事が活潑で勇敢なのは二年保育児です。社会性がある物おじしません。毎度申しますように個人差はあります。遊びの場を見ても二年保育児は過去一年間にすっかり慣れた者同志で遊びの場から落ちこぼれた者は

見受けられません(その間先生の苦勞はあったわけですが)部屋(の玩具も運動具も充分活用されていますのでよく壊しますし部屋も一パイに散らかします。(尤も後片付けもよく出来ませぬ)「泣いているな」と思っても遠くから見ていますとお互同志で解決している時が大方です。そして事の成り行きや結果について私によく報告も出来ませぬ。劇遊びにしても一つの劇に必ず何かになつて出る事になっていますが二年保育児は全体をよく理解してこの劇になくはならない一役だという生々したものが感じられません。一年保育児の場合は二学期頃迄はともすると遊びからこぼれそうな子供がいて心を用います。部屋の積木等も何時もく活潑に使われているとは言えません。三匹の子豚。赤頭巾のおばあさんの家を作つてもグループでの構成、創作的表現等の点ではるかに二年保育児に劣るように見受けられます。劇遊びにしても随分頭のいい子供もいて個人的には二年保育児より優っていると思われぬのにやはり生毛の残っているような物足りなさを感じると同時に又完成を約束された未完成の魅力とでも言いましょうか可愛さを覚えます。二年保育児はか

り扱っているとなお更そう感じるのかも知れません。

簡単な合奏の指揮もよろこんでどしどし進んで前に立ってやるのも二年保育児に多くいます。お店屋さんの計画から終り迄についてみても二年保育児の方が楽しく展開して終りに近づく頃に一年保育児はそれを見て次々と發展する状態から興味を覚え段々と活気を見せはじめやがて最高調に達するようです。

金槌、鋸、錐の使い方も年少組の時からよく知っている二年保育児の方がはるかに上手に楽しく使える事は当然でしょう。

何事にも積極的に活動しお互同志で考えたり解決出来たり分らない事や困った時はすぐ先生を相談相手にする事が出来るのはやはり一年多く幼稚園生活をした事に物を云わせているようです。然し一年保育児も三学期ともなれば流石にむくむくと頭をもたげたのもしくなってきました。修了時に証書を渡しながら思う事は此の子供は一年でよかつたけれど此の子供は二年来ればよかつたなと心残りする事です。先に私は現在では二年保育の場合組はそのままして受持ちを変えていると申し上げましたが過去において或る事情から二名で二年保育児四〇名を二分して一年保育児と混合してみましたがいよいよの問題が生れました。よ意味悪い意味両面に現れました。然しこ

の場合はよい場合を取り上げてこの編成を強調出来ないほどに一年保育児の心理的に悪く響いた点を見出しました。教師の側から言えば環境調書の組編成以前の調査によって充分考慮して編成しましたので登園下園時の心配や園の環境に慣れる事自由遊び等の面では随分二年保育児に助けられる点が多かつたようですがいろいろの表現活動の場に於て個人差による心理的な障害に出会いました。たとえば負けず嫌いな一年保育児が二年保育児の活潑な表現活動の前での劣等感です。又依存心の強い一年保育児に対して二年保育児のおせっかい等々です。全体に渡る一年保育児は二年保育児を意識し二年保育児は一年保育児を意識する雰囲気、常に何かしら其処処に障害が起りまして子供達の心理に意を用いる先生には苦勞が多かつたようです。又或年は受持ちを年少から持ち上らせてみましたのが何かしら私には情性でいってるとい感じがして子供達が飽きている時が折々あつたように思いました。これは教育技術の未熟に問題のある事でございましょう。やはり一年保育児は一年保育児の中で二年保育児は二年保育児だけで育つ事が子供達にも取扱う先生にとつても幸であると思ひます。

(高知女子大学附属幼稚園)